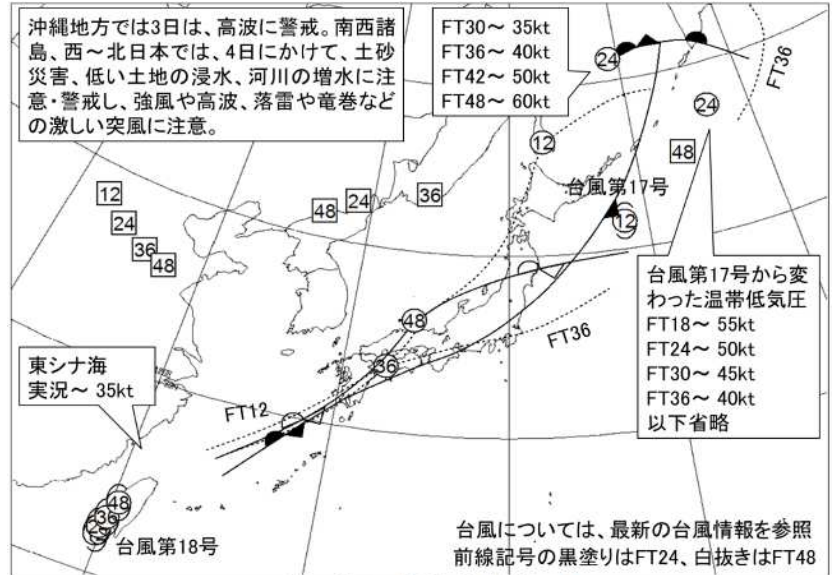


1. 実況上の着目点

- ① 大型で猛烈な台風第18号は、南シナ海をゆっくり北進。先島諸島付近の海上では、強い風が吹いて、しけとなっている所がある。
- ② 台風第17号は、日本の東を北北東進。台風周辺の海上では、強い風が吹いて、うねりを伴い波が高くなっている所がある。
- ③ 500hPa -30℃以下の寒気を伴った5400～5640mのトラフが中国東北区～渤海付近にあって、対応する前線上の低気圧が日本海北部を北東進。前線が日本海～西日本を通過して、東シナ海にのびている。前線に近い九州の西～東シナ海上では、1時間30～70mmの雨量を解析、雷を多数検知。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の台風は、2日は南シナ海を北上し、3～4日は衰弱しながら台湾付近をゆっくりと北に進む。南西諸島付近では、台風周辺からの暖湿気の影響で、引き続き大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。また、強い風が吹いて、うねりを伴い大しけとなる所がある。沖縄地方では、3日は高波に警戒し、4日にかけて土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、強風、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の台風は、日本の東を北東進し、2日夜までには千島の東で温帯低気圧に変わる見込み。北日本太平洋側の海上では、台風からのうねりを伴って波が高い所がある。北日本太平洋側では2日は、うねりを伴った高波に注意。
- ③ 1項③のトラフは2日夜にはサハリン付近へ進み、対応する1項③の前線上の低気圧は、2日夜にはオホーツク海に進み閉塞する。低気圧の北東進に伴って2日朝～夜にかけて東～北日本を前線が通過し、西日本～東シナ海に前線が停滞する。その後、3～4日に前線が再び西日本～北日本へのび出し、3日朝には前線上の西日本付近で新たな低気圧が発生。低気圧や前線に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降る所がある。また、低気圧や前線近傍では、強い風が吹いて、波が高くなる所がある。南西諸島、西～北日本では、4日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、強風や高波、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ①雨量(06時からの24時間)：九州南部150、九州北部120、四国・奄美・沖縄100mm。②波浪(明日まで)：沖縄6、北海道・東北・関東・近畿・中国・九州北部・九州南部・奄美3m。③高潮(明日まで)：大潮の時期。西～東日本では注意報基準に近づく所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第18号に関する情報(総合情報)」を5時頃に発表予定。